

○議長（堀内春美さん）

休憩を解いて再開します。

通告7番 3番 依田誠司君の一般質問を行います。

3番 依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

1番目ですけれど、今日は、ふるさと納税について質問したいと思います。今までの議論を聞いていても、お金がかなり要るけれど、町の財政を見ても、かなり少なく、年々減っている状況なので、提案というか、皆さんで頑張ってくださいということで、財政が苦しい中、ふるさと納税は、幅広く使える財源だと思うので、大変魅力があると思います。本町のふるさと納税は、今年の2021年度は1億200万円。その前、その前の年の3年くらいは1億円を超えて、ちょっと減っているのですけれど、町が違うから内容も違うかもしれないのですけれど、同じくらいの規模の市川三郷町は約3億6000万円です。県下で1番は、富士吉田市が72億です。これは全国で第9位です。市と町の違いがあるけれども、すごく違いがあります。それで、まずお聞きしたいのが、本町はさらにふるさと納税を増やすために何か考えがあるか、伺いたいです。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

依田議員のご質問にお答えいたします。議員ご指摘のとおり、ふるさと納税というのは、町にとって大事な財源でございます。ふるさと納税寄附金のさらなる増額のためには、魅力が伝わる返礼品の提供・開発や、より地域の魅力的な返礼品へのブラッシュアップさらには、ふるさと納税をとおしたシティプロモーションなどが必要だと考えております。

そのため、今定例会にふるさと納税推進業務委託費を上程し、民間の専門業者のノウハウを活用することで、より魅力ある本町のふるさと納税を発信して参りたいと考えております。

さらに、私もしっかりと富士川町のふるさと納税の金額を上げていく取組みを積極的に進めていきたいというふうに考えているところでございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

再質問です。今言っている中で、民間の専門業者のノウハウを活用するとはどういうことか、具体的に説明いただけますか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。今定例会に上程させていただきました、ふるさと納税の推進業務委託費の中で、民間の専門業者のノウハウを活用するということが計上をさせていただいております。

その内容としましては、ふるさと納税のサイトを5サイトしておりますけれども、そのうちの1つのサイトを民間の専門業者のほうに委託をしまして、そこで活用していただくという事業でございます。委託の内容としましては、返礼品の開拓やシステム構築、それから返礼品の発注などが、主なものとなっております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

内容はわかりました。もう1つの再質問になりますけれども、今の内容で、委託料とかの経費がどのぐらい掛かるのですか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまの経費についてのご質問にお答えいたします。今回、補正予算で計上させていただきましたのは、880万円でございます。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

再質問ですが、返礼品は、地域をPRできる面もありますが、返礼品の魅力だけを強調し過ぎると、返礼品ありきのお得な制度と捉えられてしまうのではないかと思います。寄附金がどうなったか見えないと、返礼品のやり取りだけで関係が終了してしまい、長続きしないのではないかと思います。その点はどうか考えておりますか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。ふるさと納税というものは、ふるさとや応援している自治体に寄附ができるという制度でございます。近年、返礼品のほうが目当てということ、でふるさと納税をするという方も多いようでございます。そのため、これまでのふるさと納税という制度と併せまして、クラウドファンディングや企業型などの制度がまた増えているところでござい

す。町としましても、こういう事業のほうにも積極的にアプローチして参りたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

堀内春美さん。

○3番議員（依田誠司君）

経費の面は業者に委託するまでは、まだわからないのですね。町長は、このふるさと納税について、今は産業振興課がやっていますけれど、専門部署を作るつもりはありますか。お答えください。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

ただいまの質問にお答えいたします。簡単に言うと、これまでのふるさと納税額では足りないということで、私も指示を出したところがございます。これから、右肩上がりにふるさと納税を上げていく。また議員ご指摘のとおり、ただ、ふるさと納税の返礼品目当てではなく、地域を感じていただくような、特色あるような、こういった仕掛けをしていってほしいということで、私も指示を出したところがございます。

今現在、産業振興課が本当にフル稼働でやっています。私の政策の一番重要な部分でもありますので、しっかりと産業振興課のほうでフル稼働させて、ふるさと納税額を上げていく努力をしていきたいというふうに考えているところがございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

ありがとうございます。稼ぐのは産業振興課しかないので、頑張ってやってください。

先ほど言われてしまいましたけれど、2番に移ります。クラウドファンディング型ですが、ふるさと納税の目的・目標を決めて、寄附金を募るものが、クラウドファンディング型なのです。使い道はより特定され、目標額も設定されているので、目の前にある社会問題への解決を応援したいという共感を得られやすいと思います。私の考えですが、寄附金も集まりやすいのではないかと思います。その辺はどう考えておりますか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのクラウドファンディングについてのご質問にお答えいたします。

ふるさと納税型クラウドファンディングは、使い道を具体的に明確にし、幅広い分野の課題解決に活用できるため、様々なプロジェクトを立ち上げ活用する自治体が増加しています。また、資金調達だけでなく、使い道のプロモーションを通じ、使い道に共感した「ファン」や「協力者」の獲得ができるといった魅力もあります。こうしたことから、本町におきましても地域の課題解決や未来のまちづくりのために活用して参りたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

これが、先ほど町長が指示したということで、町長のお考えを聞こうかと思えますけれど、それが答えだと思います。具体的にクラウドファンディングについても色々あるのですけれども、やはり課題を見つけないといけない。色々あるのですけれども、それは産業振興課が1つだけではなくて、町民に聞いたり、役場職員のほうからも聞いたり、やっていったらいいのではないかと思います。これでふるさと納税は終わりますけれど、先ほど言われましたけど、企業版ふるさと納税というのがあります。企業が自治体の地域活性化事業に寄附すると、法人関係税が軽減される。平成31年にもちょっと税制も変わって、かなりメリットも多くなっているみたいなのです。なので、そういうことをすることによって、企業誘致にもつながるかなと思います。これは、お願いがありまして、ほかの市とか町でもあるのですけれど、町長自らが企業を回って、町長が営業マン、セールスマンになってまちづくりをPRして実績を出しているところもあります。裾野市だと、市長が回って10億円集めたいのです。ただ、ふるさと納税をするには本社が地元にある企業ではダメなのです。だから、そういう面でも、町長が回るのは大変かもしれないけれど、要所を回って、少しはやっていただきたいと思います。これは、以上です。

次は、豪雨対策についてです。前回の町議会でも防災のことを質問しましたが、新しくハザードマップができるということは聞いていましたけれど、富士川以外の河川をいれるのか、伺いたいです。

○議長（堀内春美さん）

防災交通課長 大久保公生君。

○防災交通課長（大久保公生君）

ただいまの質問にお答えいたします。現在の富士川町土砂災害・洪水ハザードマップは、平成30年度に更新したものであり、国及び山梨県において公表されている、最新の土砂災害警戒区域等の位置や、河川の浸水想定区域図を用いて更新しております。

こうした中、県においては、昨年3月に戸川を浸水想定区域に指定し、区域

図を公表したところであり、本年度中には、さらに長沢川についても、指定・公表が予定されております。今後、県においては、釜無川流域のそのほかの支流についても、順次、指定及び区域図の作成を計画されていることから、明年度以降に更新を予定しております、ハザードマップにおいては、戸川や長沢川はもとより、最新の指定・公表状況を反映して参りたいと考えております。以上であります。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

利根川は、ハザードマップに入らないのでしょうか、伺いたいです。

○議長（堀内春美さん）

防災交通課長 大久保公生君。

○防災交通課長（大久保公生君）

ただいまのご質問にお答えいたします。現在私たちが捉えている情報ですと、利根川の話は聞いておりません。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

わかりました。最新のものをに入れていくということでわかりました。

再質問ですけれど、その都度の更新は、何年に1度とか決まっているのですか。それとも新しい情報があれば、マップ等を更新するんですか。

○議長（堀内春美さん）

防災交通課長 大久保公生君。

○防災交通課長（大久保公生君）

望ましい姿というのは、毎年度更新するものと存じておりますけれども、財政的な部分もございますので、今回のように多くの河川が編入されたような場合に、更新していこうということで考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

それでは、次に入ります。町民の防災意識を高めるために、各地区に対する、町からの具体的な計画は考えていますか。

○議長（堀内春美さん）

防災交通課長 大久保公生君。

○防災交通課長（大久保公生君）

ただいまのご質問にお答えいたします。町では、町民の防災意識を高めるた

め、ホームページや広報誌に防災情報を掲載し、周知を図っているところであり、ます。こうした中、町では明年度以降に、土砂災害・洪水ハザードマップの更新を予定しております。このハザードマップでは、昨年3月に指定河川となった戸川をはじめ、国や県において指定及び公表されている、最新の情報を反映して参りたいと考えております。更新後は、新たなハザードマップを用いて、土砂災害及び河川の氾濫等における安全の確保について、周知するとともに、山梨県が実施している防災に関する出張講座の利用を周知し、防災意識の高揚を図って参りたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

再質問です。情報の発信はよくわかります。町のほうで色々ホームページへ載せたり、LINEを出したりと、色々なものを出しているのもよく承知しております。しかし、それが町民に伝わっているかを確認したことは、ありますか。過去の災害を見ると、ハザードマップは貰ってあったけど、見ていなかったとか、マイタイムラインは作成していなかったと。避難所を正しく理解していない。レベル1～5がよくわかっていない。避難しようかと思ったら、もうその避難ではなく、レベル5になっていて、もう避難してはいけなのに避難してしまったとかそういうことがあるので、そういうことが周知徹底されている、変わっているということが、町で掴んでいますか。この間、小林議員に言われて、水がどのくらい浸くかみたいなことが安易に目につくところであれば分かりやすいのですけれども、家もそうなのですけれども、意外と見ていないのです。だからそういうのは、いくら良い情報を出しても、いざ災害が来たときに避難できなければ、いくら良いマップを作ったり、良い情報を入れてもわからなくて、受け手側のことをもう少し考えて作ってほしいし、その辺を町のほうは掴んでおりますか。お答えください。

○議長（堀内春美さん）

防災交通課長 大久保公生君。

○防災交通課長（大久保公生君）

様々な情報を発信していくのは、行政の業務と存じておりますが、最近、防災行政無線一択から、複数の選択肢になってきているというふうに考えております。町では、広報等にもマイタイムラインおよびハザードマップ等のQRコードを載せ、皆さまに周知を図っておるところでございますが、周知を始めた時期が今年度に入ってからですので、今後、周知徹底、それから皆様への理解につきましては、確認して参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

わかりました。1回だけでは忘れてしまう人が結構多いので、定期的に「ハザードマップを見えていますか。」とか、そういう発信をしてほしいと思います。できたら、ハザードマップ、マイタイムラインを持ち寄って、組の人の中で一緒に見るとか、LINEの勉強会をやっていただくとか、スマホを持っている人は多いのですけれども、LINEが入ってない人もいますので、そういうことも進めていくと。あと持っているけど、LINEの見方がよくわからないとか、面倒だと思いますけど、それは地区の組長さんとかを通じて、周知徹底していただきたいと思います。要するに言いたいことは、いくら良いマニュアルを作って、良い設備を作っても、いざ動くときに動けなければ終わりだということなので、その辺をしつこいようですけど、前回に続いて今回も防災のことを言いましたけれど、肝に銘じておいてください。これで私の質問を終わります。

○議長（堀内春美さん）

以上で通告7番 3番 依田誠司君の一般質問を終わります。

---